

1 山梨県内公共図書館の概況(平成23年度)

平成23年3月11日の東日本大震災により、一時閉館や本の落下などが数館から報告があったが、平成23年度になってからも節電への協力のため、多くの図書館で9月まで開館時間を短縮するなど運営面で大きな影響を受けた。

富士吉田市では、図書館と富士五湖文化センターが入った市民会館が完成し、4月1日に開館した。4階建ての建物のうち、図書館は1、2階部分にあたる。当初、3月29日に完成式を予定していたが、震災を受けて内覧会へ変更し、記念イベントも中止となった。開館後2か月間で昨年度同時期との比較では本の貸出数が36.4%増、貸出利用者が47.2%増と大幅なアップとなった。また、韮崎市は新図書館と子育て支援センターが入った韮崎市民交流センター「ニコリ」が9月3日にオープンした。地上4階、地下1階の建物のうち図書館は2階部分にあたり、ICタグによる自動貸出システムや、携帯電話を使って本の貸出ができるサービスが開始されるなど利用者の利便性が図られている。管理運営については指定管理者制度が導入され、県内では山中湖情報創造館に次いで2館目となる。

市町村立図書館の建て替えに関する動きとしては、山梨市が6月に「山梨市立図書館基本計画策定委員会」を設置し、月1回ペースの会合を経て平成24年1月に「新山梨市立図書館基本計画」を策定し、平成25年度中の完成を目指している。北杜市むかわ図書館は、現在の施設である武川教育福祉センターが武川会館と統合することに伴い、平成25年3月完成予定の武川コミュニティ施設併設での開館を目指している。

昨年度に引き続いて、国の「住民生活に光をそそぐ交付金」を受け、資料購入、施設やシステムの整備などが行われた。身延町立図書館では、5月から7月にかけて視聴覚コーナーのリニューアルや、書架の増設、館内照明の一部LED化などを行った。また、北杜市では交付金により増築した金田一春彦記念図書館に、平成24年3月「北杜ゆかりの著者コーナー」を設置した。県立図書館ではこの交付金によって新図書館の開館に向けての資料購入が行われた。

「子どもの読書活動推進計画」については、平成24年3月に富士吉田市と甲州市が策定し、これにより県内の市町村の策定状況は40%を超えた。また、同じく3月、県と南アルプス市では「第2次子ども読書活動推進計画」を策定した。中央市でも11月に「中央市子ども読書活動推進計画策定委員会」を設置し、平成24年4月の第2次計画策定を目指している。

4月、平成24年秋の開館をめざして建設が進む新県立図書館では、県民が本や図書館に対する思いを描いたポストカードで、工所用仮囲いを彩る「ウォール・アート・プロジェクト」が披露された。11月23日の開館イベントでは、新図書館の愛称及びシンボルマークの入賞作品の表彰式や、みらいななさんによる絵本読みなどが行われた。このようなイベントを通して県民への周知が図られる中、平成24年3月、甲府駅北口に地上4階、地下1階の建物が完成した。

◆**図書館設置率** 〈平成 24 年 4 月 1 日現在〉

市区立図書館 100% (全国平均 98.5%)

町村立図書館 50.0% (全国平均 53.9%)

*全国平均の数値は『日本の図書館』2012 年調査集計結果



図 1 県内図書館設置市町村

◆**山梨県の現況**

面積 4,465 km²

人口 855,746 人

〈平成 24 年 3 月 31 日現在の

住民基本台帳人口〉

◆**図書館設置市町村〔20 市町村〕**

甲府市	大月市	笛吹市	中央市	昭和町
富士吉田市	韮崎市	北杜市	市川三郷町	富士河口湖町
都留市	南アルプス市	上野原市	身延町	忍野村
山梨市	甲斐市	甲州市	南部町	山中湖村